

犯罪や非行のない町へ 社会を明るくする運動

7月7日(金)、「第73回社会を明るくする運動」の取り組みに際して、内閣総理大臣メッセーじおよび北海道知事メッセーじ伝達式が行われました。

この運動は、犯罪や非行の防止、更生について理解を深めることで、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動で、7月が本運動の強調月間および再犯防止啓発月間となっています。

犯罪や非行をなくすために何ができるかを考え、町全体で安心・安全な暮らしを守っていきましよう。



新鮮! 格安! 安全・安心!



7月8日(土)、汐吹漁港にてつくい海鮮まつりが開催されました。

漁港内は、昨年を大きく上回る約1,000人の来場者で埋め尽くされ、鮮魚やウニ、ホタテなどを買い求める人で長蛇の列ができました。

また、恒例の「特大ヒラメの解体ショー」では、重さ約8キロの巨大ヒラメが見事な包丁さばきで4枚に下ろされると、会場からは大きな拍手が起きました。
解体されたヒラメは、希望者とひやま漁協上ノ国支所長のじゃんけんにより勝者に配られ、大変喜ばれていました。

新たな青春の1ページを 第41回上高祭

7月8日(土)と9日(日)の2日間、上ノ国高校で第41回上高祭が開催されました。

1日目は各学年が手塩に掛けて制作した特製の行灯を担ぎ、町内を練り歩きました。折り返し地点からは内蔵したライトで行灯を照らすと、生徒たちの力強い掛け声で活気づきました。

2日目はクラス発表と自由発表が一般公開され、保護者や町民が観覧に訪れました。個性豊かな発表に爆笑や歓声が起る場面がたくさんあり、生徒たちだけでなく、観客も一緒になってがむしゃらに楽しんでいました。



4年ぶりの夏の風物詩 商工会青年部ビアガーデン

7月16日(日)、大留地区複合施設内駐車場において、時折小雨が混じる中、4年ぶりに「第11回上ノ国町商工会青年部納涼ビアガーデン」が開催されました。

会場では、おいしいビールを片手にバーベキューをほおぼる人で賑わい、豪華景品の当たるビンゴ大会やジュース早飲み競争も行われ、来場者の方々は夏の一日を満喫した様子でした。

ジュース早飲み参加者は「来年はストローの太さと長さを見直してほしい」と悔しげに話していました。

